

環境研究総合推進費令和7年度事後評価個票

研究プロジェクト番号	S-18-5
研究プロジェクト名	気候変動影響及び適応策に関する経済評価手法の開発
研究実施期間	2020（令和2）年度～2024（令和6）年度
テーマ代表機関名	東北大学
テーマリーダー名	日引 聰

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

気温上昇ならびに水害についてのマクロ経済評価モデルを地域別に構築し、農業や製造業において適応行動分析を含め全国の経済影響を評価分析し有用な成果が出ている。例えば、気温変化や水害が農業所得に与える影響を従事者年齢や地域の助け合いの観点で分析した。また適応要件を後継者や過去の経験の有無、栽培作物種類、経営規模などの視点から評価している。水害による農業や製造業被害においては、耕作地の比率や企業規模、水害の経験の有無が大きな影響を与えることなどを考慮すべき要素として抽出し、水害の与える全国的経済影響を評価したことは高く評価される。

一方で、経済モデルにおける不確実性評価も今後の課題であろうと考えられる。パラメータの特性や結果の検証のための研究が必要と考えられた。また、モデルによる農作物の質や農地被害への言及や農地管理や農協などの影響の考慮などもお願いしたい。同時にこれらの成果は、東南アジアの国々への技術協力や啓蒙に利用・展開していくことを期待する。